



藤井寺市
企業パートナーシップデスク



ADDRESS 藤井寺市岡1-1-1 藤井寺市役所政策推進課内
TEL 072-939-1171 (直通)
MAIL kikaku@city.fujiidera.lg.jp

はじめに

昨今、企業・事業者・大学等の社会における価値や役割が今まで以上に重要視されています。一方、行政においては、社会課題の多様化・増大により、単独での解決が困難となっています。

藤井寺市は、行政と企業・事業者・大学等が、お互いのノウハウ、資源、知恵を掛け合わせることで、相乗効果を生み出し、持続可能でより豊かなまちを実現することができますと考えています。そして、藤井寺市を舞台に実証実験を行うなど、見本となる「藤井寺モデル」を作りだし、日本で5番目に小さい市である「藤井寺市」から全国・世界へその波が伝わっていくことで、社会全体が豊かになっていくことを願っています。多くの企業・事業者・大学等からの提案をお待ちしています。

藤井寺市長 岡田 一樹



藤井寺市と連携するメリット



企業・事業者・大学

Merit 1

企業ブランド力の向上

商品・サービスのPR以上に、より地域密着や社会課題解決に積極的であるというブランドイメージを発信することができます。

Merit 2

ビジネスチャンスの獲得

社会・地域課題を共有することで、新たなビジネスチャンスを獲得するきっかけになります。また、実証実験的に、新たなビジネスモデルの構築ができます。

Merit 3

宣伝機会の増加

公民連携事業は、当市からも広くPRを行います。そのため、当市の市民をはじめとして、消費者や他自治体等への企業PRの機会が増えます。

ますます注目される公民連携とCSR/CSV

近年、企業のCSR/CSVが増々注目を集めています。

CSRは「社会的責任」から「社会貢献活動」へと枠組みを広げ、企業・事業者・大学にとって社会的役割を示す上でも重要なものとなっています。さらに、社会課題・地域課題の解決をビジネスチャンスと捉えることで、企業各社のノウハウを活かした新たなサービスが生まれたり、企業のブランド力を向上させるCSVも話題になっています。

また、大学においても地域での役割が求められるとともに、特色ある研究・教育に取り組まれています。当市では、そういった企業・事業者・大学等のCSR/CSVと公民連携の基本理念に従い、連携することで、社会・地域課題に対し、新たなアプローチを目指していきます。

CSR CSV



企業・事業者・大学



行政

持続可能な社会・市の実現(SDGs)



企業パートナーシップデスクとは

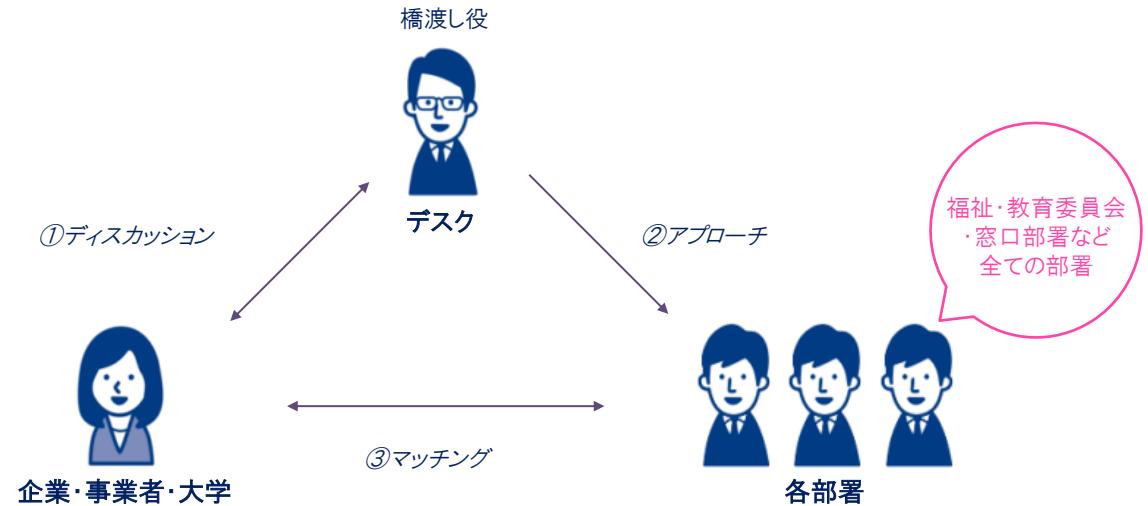
「行政組織って複雑…どの部署に相談すればいいの?」、
「行政や地域ってどんな事に悩んでいるのか分からない」、
「窓口部署、福祉・学校現場…提案に行くのも気が引ける」
というお声を今まで多く頂いていました。

そこで、藤井寺市として公民連携を進めていくため、新たに「企業パートナーシップデスク」を新設しました。デスクでは、ジャンル・部署横断的に提案を一括でお受けし、ディスカッションいたします。

その後、関係する部署へとつなぐ橋渡し役となり、マッチングを行います。

また、特に提案を頂きたい分野については、行政課題や地域課題をオープンに情報提供いたします。

まずは「こんなことができないかな?」という相談からでも結構ですので、お気軽にご連絡ください。



公民連携の基本理念

| | |
|---|---|
| 1 | Social innovation 互いのノウハウ・資源を掛け合わせ、社会変革を創出することで、社会課題・地域課題の解決を図ります。また、連携実績はSDGsと紐づけてPRします。 |
| 2 | Win-Win-Win 相互理解により、対等で互いにメリットのある関係性を構築します。市民(顧客)もメリットが生まれる「三方良し」の事業を設計します。 |
| 3 | Close to all 要件を満たすすべての企業・事業者・大学等からの提案を募集します。基本的に先着順で受付します。最適な連携の形を話し合いましょう。 |

※原則、財政措置、人的負担を伴わないものとします。また、商品・サービスの販売等、単なる営業はお断りします。
※基本的に全ての企業・事業者・大学からの提案を募集していますが、別に定める要件を満たさない場合はお断りします。
※連携内容は積極的に公開し、PRを行います。ただし、企業の独自のアイデアについては協議の上、保護します。
※連携を行う上で知れた個人情報についてはお互いに十分に注意し、保護するものとします。